

## 心の中心は愛情 立腰指導の研修会を開催

8月2日、文化会館で立腰指導の研修会が開催されました。立腰指導の先駆者である社会福祉法人仁愛保育園園長の石橋富知子さんを講師に迎え、約200人の関係者が参加。石橋さんは「心の中心は愛情。愛が先の立腰教育で心を込めて心を伝える」など立腰指導のポイントを話しました。



立腰とは、学習中に腰骨を立てる姿勢を保つことで、子どもの集中力を高めることなどを目的としています。



講座は、12月までに行われる必須講座6回、基本研修の6回の全12回。修了した児童には、子ども司書の認定証が送られます。

## 家庭・学校で読書をもっと楽しく 県内初の子ども司書を養成

7月29日、子ども司書養成講座が市立図書館で開講されました。図書や司書に対する知識や技能を身につけた児童を育成する講座の受講生は、小学校5年生15人。受講生を代表して小林小5年横川晟吾くんが「司書の仕事、読書・本の良さを伝える力を身につけたい」と決意を述べました。

心の中心は愛情  
立腰指導の研修会を開催

## 阿波木偶箱廻しの歴史を学び 人権問題の理解を深める

8月3日、人権コミュニケーションフェスティバル2011が、市文化会館で開催されました。講演では、「阿波木偶箱廻しを復活させる会」(辻本一英代表)が、被差別部落で継承されてきた徳島県独自の人形劇を披露し、由来等を解説。文化の伝承と人権・同和問題について理解を深めました。



正月や節句・祭日などに、家々を一軒一軒廻って歩き、訪れた家の幸運を祈願して、縁起のよい出し物を演じた阿波木偶箱廻し。



がねとはサツマイモやニンジンを小麦粉と混ぜて揚げたもの。揚げた形が蟹に似ていることからこの名が付いたとされています。

## 郷土料理「がね」の味を競う コスモス牧場でがねグランプリ

7月31日、コスモス牧場で第1회가ねグランプリコンテストが開催されました。市内外から8チームが参加し、趣向を凝らした郷土料理がねを販売。来場者249人が食べ比べた結果を投票した結果、市内のひばり工房が出品した「ゴボウたっぷりゴボっかがね」が優勝しました。

## 地域防災のリーダーを育成 防災士研修を開催

7月27日と28日の2日間、小林市役所で防災士養成研修が開催されました。同研修は県が主催したもので、防災や救命の知識を習得し地域防災のリーダーとなる人材を育成するもの。市内外から28名が参加し、避難経路を地図上で検討するDIGなどの講習があり、参加者は真剣な表情で参加していました。



救急救命講習ではAED(自動体外式除細動器)の使い方や人工呼吸のやり方について学びました。

## 甘〜い果実がたわわに実る 観光農園がオープン

7月29日、坂下地区の永迫梨園で観光農園の開園式が行われました。関係者など約30人が出席し、今年の豊作を祈願。坂下梨観光農園代表の永迫賢治さんは、「今年は、新燃岳噴火の影響など不安もあったが、例年並に玉太りも良く、甘みも十分。旬の味を楽しんで」と話していました。



ぶどう狩りは9月下旬、なし狩りは10月中旬まで楽しめます。  
問：小林市観光協会 22-8684



派遣を終えた日高さんは、現地で見学したことを、生徒や市内小中学校の教師にも報告を行っています。

## 小林中教諭日高隆浩さんが 被災地の学校をサポート

8月11日、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県山元町に派遣された小林中教諭日高隆浩さんが、市長へ活動報告をしました。日高さんは、派遣先の町立坂元中学校で夏休みの児童生徒の指導等を行う「学校サポート活動」に従事。「貴重な体験。今後の教育に役立てたい」と話していました。



写真は見事優勝した第7分団第5部(奈佐木)。消防団は、火災時の出動など、地域の防災を担う活動を行っています。

## 第7分団第5部が積載車の部優勝 西諸支部操法大会

7月24日、消防団西諸支部操法大会が小林市消防団訓練広場で開催されました。西諸各市町を勝ち抜いた代表が集結し、練習の成果を発揮。小型ポンプ積載車の部で第7分団第5部が優勝したほか、ポンプ車の部で第1分団第5部、小型ポンプの部で第2分団第2部が第2位と健闘しました。